

第51回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1998年9月11日（金）10:30～11:55

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 藤家委員長代理、依田委員、遠藤委員、木元委員
動力炉・核燃料開発事業団 植松特別技術参与
日本原子力研究所 松浦副理事長
（事務局等）科学技術庁
原子力局
原子力調査室 森本室長、板倉、池亀、國嶋、鈴木、仲
国際協力・保障措置課 瀬山課長、古西、遠藤
放射性廃棄物規制室 桑原室長、小川、門馬
政策課 坂本
動力炉開発課 犬塚
通商産業省資源エネルギー庁
原子力産業課 斉藤企画官
原子力発電課 牧野
吉鐘専門委員

4. 議 題

- （1）原子力国際協力専門部会報告について
- （2）核燃料サイクル開発機構の基本方針について
- （3）平成11年度原子力関係経費の見積りについて
- （4）日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所における廃棄物埋設の事業の変更の許可について（答申）
- （5）藤家委員長代理の海外出張について
- （6）その他

5. 配布資料

- 資料1-1 原子力国際協力のあり方及び方策について一新たな展開に向けて一
資料1-2 「原子力国際協力のあり方及び方策について一新たな展開に向けて一
（案）」（平成10年6月12日原子力国際協力専門部会）に対する
ご意見と回答
資料2 核燃料サイクル開発機構の業務に関する基本方針について（案）
資料3 平成11年度原子力関係経費の見積りについて（案）
資料4-1 日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所における廃棄物埋設の事業の変更
の許可について（答申）（案）
資料4-2 日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所における廃棄物埋設の事業の変更
許可申請の概要

- 資料5 藤家原子力委員長代理の海外出張について
資料6-1 第49回原子力委員会定例会議議事録（案）
資料6-2 第50回原子力委員会定例会議議事録（案）
配布資料 原子力政策円卓会議（第1回）の結果について

6. 審議事項

（1）原子力国際協力専門部会報告について

標記の件について、原子力国際協力専門部会部会長及び事務局より資料1-1及び資料1-2に基づき説明があった。これに対し、

- ・2年半にもわたる検討に対し、謝意を表するとともに、新しい原子力政策へ反映すべく参考としていくべき。
- ・今後、この報告書を定期的にフォローアップし、進捗状況を適宜把握していくべき。
- ・国際協力については、国民に見えにくい面があるので、折りに触れて情報提供していくべき。
- ・冷戦構造の崩壊により世界は転換期にあり、今回の報告書の意向を十分に尊重し、提言は積極的に利用し、展開していくべきである。

等の委員の意見及び質疑応答があり、本報告については了承された。

（2）核燃料サイクル開発機構の業務に関する基本方針について

平成10年9月8日付け10原第158号をもって内閣総理大臣より付議があった標記の件については、審議した結果、原案どおり決定した。

（3）平成11年度原子力関係経費の見積りについて

標記の件について、委員より

- ・広報活動に関する関係省庁の連携はどうなっているのか。
- （事務局）科学技術庁と通商産業省の間で連絡会を設置し、外部の方々の意見も聞きながら、経費の共有、無駄の排除等を図っていきたい。
- ・必要に応じて、民間の方々にも連絡会に参加していただき、情報交換を行うべき。
 - ・原子力広報に関する科学技術庁と通商産業省の役割分組が、一般に分かりやすく見えるよう合理的に実効するべき。
 - ・行政改革を踏まえ、原子力委員会としても広報機能を持つべきかどうか検討すべき。

等の委員の意見及び質疑応答があり、本件については資料3のとおり決定した。

（4）日本原燃株式会社濃縮・埋設事業所における廃棄物埋設の事業の変更の許可について（答申）

平成9年12月18日付け9安（廃規）第3号をもって内閣総理大臣より諮問があった標記の件に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第51条の5第3項において準用する同法第51条の3第1項第1号及び第2号（経理的基礎に係る部分に限る。）に規定する基準の適用については妥当なものと認め、内閣総理大臣あて答申することとした。

注）本件は、2号廃棄物埋設施設の増設及び1号廃棄物埋設施設の廃棄体の

受け入れ期間を含めた第１段階の管理期間を変更するものである。

(5) 藤家委員長代理の海外出張について

機記の件について、事務局より資料５に基づき、１９９８年９月１２日から９月２３日までの間、日・カザフスタン－ＧＲ協力会議への出席及びカザフスタン政府主催の核不拡散会議での講演を行うとともに、ロシアの大学、研究所等の訪問及び関係者との意見交換を行うための海外出張について、説明があった。

(6) その他の案件として、原子力政策円卓会議（第１回）の結果について、事務局より配布資料に基づき説明がなされた。これに対し

- ・活発な議論が行われて良かった。
- ・招へい者から、ＣＯＰ３において原子力について全く議論されなかったとの意見が出されたが、実際にはどうであったかを検証しておく必要がある。
- ・逃げる原子力、見える原子力を心がけていくべき。
- ・賛否両論が同じテーブルで戦わさせることが重要であり、今後とも継続していくべき。

等の委員の意見があった。

(7) 議事録の確認

事務局作成の資料６-１第４９回原子力委員会定例会議議事録（案）及び資料６-２第５０回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。

なお、事務局より、次回は９月１８日（金）に臨時会議を１０：３０から開催する方向で調整したい旨発言があった。